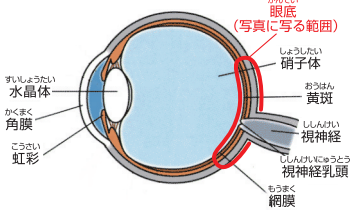




「眼底写真を撮ろう」

毎年、秋になると目の愛護デー（10月10日）に合わせて、全国各地で目の病気に関する講演や健康相談のイベントが行われます。とくに生活習慣病を発症しやすい40から60歳代の方を中心に眼科検診の重要性を説いて受診を促し、自身の目の健康状態とともに眼底検査により全身状態も確認してもらおうことが目的です。

〈眼底断面図〉

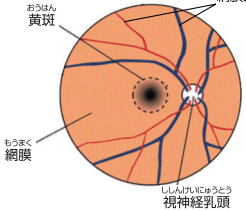


がんでい眼底 (写真に写る範囲)  
 しょうじい硝子体  
 おうはん黄斑  
 しんがい視神経  
 しんがいしんこうとう視神経乳頭  
 もうまく網膜  
 ずいしょうたい水晶体  
 かくまく角膜  
 こうさい虹彩

眼底検査は、特に検診の場合には眼底写真を撮ります。

写真を見て、生活習慣病の発見のみならず、その進行具合や悪化の危険性を予測することもできます。眼底とは、眼球断面図で水晶体より後ろの部分ですが、写真には視神経や網膜血管、黄斑が写ります(図)。

〈眼底写真〉



もうまくけっかん網膜血管  
 おうはん黄斑  
 もうまく網膜  
 しんがいしんこうとう視神経乳頭

視神経の異常は緑内障、網膜に血管の拡張や出血、腫れがあれば糖尿病網膜症や網膜血管閉塞症、また黄

斑の異常は、加齢黄斑変性を疑います。これらは生活習慣病と深く関わります。

緑内障は日本人失明原因の第1位、糖尿病網膜症は第2位ですが、どちらも眼底写真で早期発見可能です。さらに網膜血管は心臓から頸動脈を通り脳に至る血管の一部分であり、この網膜血管を観察して心臓、脳血管障害、頸動脈病変の発症や進行、将来の危険を予測するのです。

生活習慣病では早くから脂質代謝異常や高血圧が問題となるので、眼科検診で病気の程度が分かれば、食生活を改善する、薬の内服を開始するきっかけになり、早期の治療開始が可能です。眼底写真は血管造影剤や散瞳剤を使用しなくても簡便に撮影でき、非常に有用なのです。(院長 伊田宣史)

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

伊田眼科クリニック



診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	○	○	○	△
18:30	○	○	○	○	○	○	△

【休診日】木・土曜午後  
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

